

有限会社東軌建設 環境活動レポート

1. 組織の概要	P2
2. 対象範囲	P2
3. 実施体制	P3
4. 環境方針	P4
5. 主な環境負荷の実績	P5
6. 環境目標及びその実績	P5
7. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	P6
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P7
9. 代表者による全体評価と見直し	P7

活動期間： 2015年6月1日～2016年5月31日 作成日： 2016年9月20日

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社東軌建設
代表取締役社長 矢野 大輔

(2) 所在地

本 社 千葉県船橋市宮本8丁目30番15号
資機材置場 千葉県船橋市夏見台5丁目25番1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 矢野 大輔
連絡担当者 鷺谷 香里、山口 高志
連絡先 電話 047-460-1590
FAX 047-460-1591
E-mail info@toki-kensetsu.com

(4) 事業内容

鉄道施設に関する土木工事、軌道計測・整備

(5) 事業の規模

売上高 3.6 億円 第13期(2015/6/1～2016/5/31)実績

	本社	資機材置場	合計
従業員数(人)	8	無人	8
延べ床面積(m ²)	86	347	433

(6) 事業年度

6月～5月

2. 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号： 0010950

認証・登録年月日： 2015年12月22日

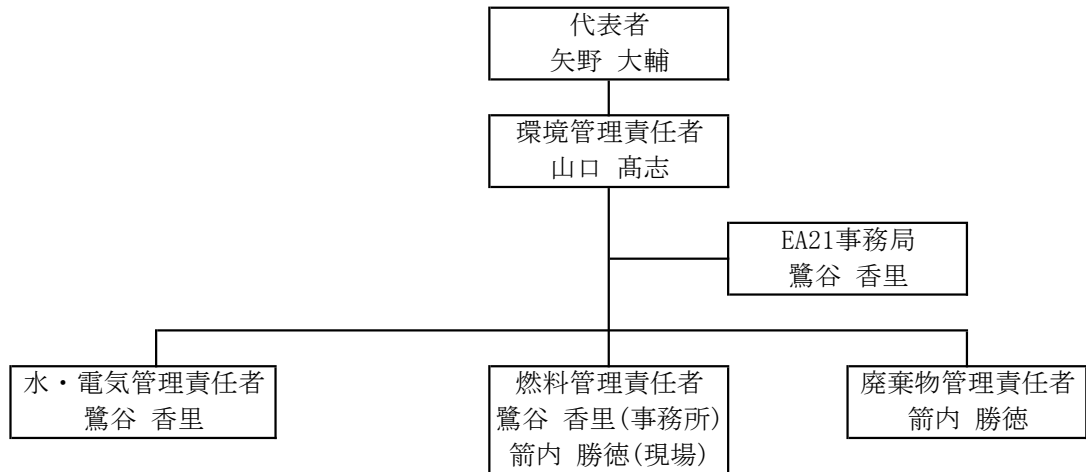
認証・登録事業者名： 有限会社東軌建設

対象事業所名： 本社・夏見資機材ヤード

所在地： 千葉県船橋市宮本8丁目30番15号
千葉県船橋市夏見台5丁目25番1

事業活動内容： 鉄道施設に関する土木工事、軌道計測・整備

3. 実施体制図



	責任及び権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施に必要な人材、資源の準備 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表の作成と遵守評価の実施 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動レポートの作成
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの公開 各種手順書・記録作成の補佐
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実践 想定される事故及び緊急事態への対応 各種手順書・記録の作成
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境方針

(1) 2020年に向けて

顕在化した人手不足、2020年を見据えた建設需要過多とややもすると後回しにされそうな環境への取組をこういった時期だからこそより積極的に取り組むべきと考えます。弊社も今秋より国立競技場への玄関口となる千駄ヶ谷駅の改良工事に携わることとなり、元請業者ではありませんが、再生品・再生可能エネルギーの利用や環境配慮型の資機材の採用などを提言することで社会に貢献できるよう努力します。

(2) 有限会社東軌建設 環境方針

当社は創業以来、鉄道インフラ整備に関わる土木・軌道工事に携わってきました。鉄道はCO₂排出が、輸送量の占める割合に比べて低く、環境に優しい輸送機関です。私たちはCO₂排出量削減が重要であるとの認識のもと、エネルギーの効率利用や消費量低減に取り組むほか、社員一人ひとりがCO₂削減の観点から日々の業務を見直す取組に努めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2.
 - ①エコドライブを実践し、化石燃料の使用量低減を推進します。
 - ②事務所から排出されるゴミを分別し、再利用・再資源化に取り組めます。
 - ③節水に取り組めます。
 - ④クールビズ・ウォームビズ、節電を実行し、省エネ及びCO₂削減に努めます。
 - ⑤コピー用紙の有効利用に加え、グリーン購入を推進します。
 - ⑥現場では騒音、振動など近隣環境に配慮し、建設副産物の分別リサイクル化に取り組めます。

上記の行動指針について環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

環境方針は、すべての従業員に周知する。

制定日： 2015年3月17日
加筆(2020年に向けて)： 2016年9月17日

代表取締役社長 矢野 大輔

5. 主な環境負荷の実績

第12期：2014年6月1日～2015年5月31日

第13期：2015年6月1日～2016年5月31日

項目	単位	基準年(第12期)	第13期
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	37,945	27,162
廃棄物排出量	トン	2.71	0.42
一般廃棄物排出量	トン	0.71	0.42
産業廃棄物排出量	トン	2	0
総排水量	m ³	206	144

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.525 kg-CO₂/kWh

6. 環境目標及びその実績

項目	期	基準年(第12期)	第13期		第14期	第15期
		(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	Kg-CO ₂	6,632	6,566	3,849	6,500	6,433
	基準年比	2014年	99%	58%	98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	Kg-CO ₂	30,215	29,913	22,345	29,610	29,610
	基準年比	-	99%	74%	98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	Kg-CO ₂	662	649	278	636	629
	基準年比	-	98%	42%	96%	95%
灯油による二酸化炭素削減	Kg-CO ₂	436	432	690	427	423
	基準年比	-	99%	158%	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	Kg-CO ₂	37,945	37,559	27,162	37,173	37,096
一般廃棄物の削減	Kg	707	700	420	693	686
	基準年比	-	99%	59%	98%	97%
製品への環境配慮	各々の現場における産業廃棄物管理計画に基づき分別し、建設副産物のリサイクル率の向上に努める。					
水道水の削減	m ³	196	194	144	192	190
	基準年比	-	99%	73%	98%	97%
グリーン購入の推進	%	26%	30%	24%	40%	50%

7. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	CO2削減率は目標を大幅に上回る好結果となった。2階仮眠室の節電(特にエアコン)を徹底したのが最大の要因と思われる。 警備会社との契約により夜間の防犯対策として電源OFFとしなかった照明のスイッチを切ることができたのも要因の一つ。 天井設置型のエアコン取替は電気工事に掛かる手間が甚大であるため当面は見合わせることにした。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房には使用しない)	○	
・不要照明の消灯	○	
・OA機器の省電力設定	○	
・クールビズの推進	○	
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	2階仮眠室にある浴室の冬場での使用量が減ったのが目標達成の大きな要因。なんらかのガス使用制限をしたわけではないが、昼夜連勤を徐々にでも減らしていこうという会社の取組みがこういう結果となったのではないかと。
・長期間の不在時は元栓を閉める	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	現場への距離が燃料消費の鍵となり、エコカーと言っても工事用車両として使用できるものは限られており現状出来ることはエコドライブの啓発活動(車両整備の徹底など)ぐらいではあるが、安全運転管理者に一定の権限を持たせることで無理のない運転を実施するよう努めさせた。
・アイドリングストップ	○	
・効率的な配車(複数人で乗車)	△	
・定期点検の実施	×	
灯油による二酸化炭素削減		
数値目標	×	年度を通して(実際は冬場だけ)灯油を利用するのは初めてなので単純に前年度との比較はできないが、外気温も考慮した検討も必要と思われる。
・ウォームビズの推進	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	コピー用紙のリサイクル化として名刺を発注。機密文書は溶解処理後リサイクル化。今後は全ての紙類のリサイクル化に取り組みたい。
・分別の徹底	△	
・コピー用紙のリサイクル化	△	
・両面・裏紙コピーの利用	△	
・グリーンサイトの利用	×	
建設副産物のリサイクル率の向上(各現場) 産業廃棄物の削減(自社)		
数値目標	○	3/25安全事故防止会議にて石綿含有建材に関する説明を行う。 今後は月に一度開催されるこの会議で“環境法規制等順守要注カード”を利用して啓発活動を行いたい。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・必要なものを必要な量だけ購入	○	
・ヤード、倉庫の整理整頓	△	
・資材を劣化させない措置	△	
水道水の削減		
数値目標	○	目標値を大きく上回る結果となったのは勤務体制の見直しによる仮眠所の利用頻度が低下したためと思われる。 引き続き全体会議を利用して節水意識の喚起に努めたい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
グリーン購入の推進		
・事務用品グリーン購入比率向上	×	購入時に「エコ商品ねっと」等のサイトを利用することもあるが、まだ徹底されておらず、特に高額商品はコストパフォーマンスを優先してしま
・省エネ性能の高い電気製品の購入	△	
・有害性の少ない資材の購入	×	
社会貢献		
・会社周辺の清掃活動	△	もう少し定期的実施したい。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
建設リサイクル法	建設副産物
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
消防法（危険物）	シンナーの保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
家電リサイクル法	法に基づき事業者に引き渡す。
小型家電リサイクル法	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21の取組から一年以上が経過し環境に対する従業員の意識は多少なりとも変化してきたと感じられる。

環境目標に対しては概ね達成することができた。項目別にみると；

- ・二酸化炭素の削減目標は、灯油によるものを除いては満足のいく数値を達成できた。特に自動車燃料は工事受注額が増大している中での削減であり、率直に従業員の環境への意識の変化と大いに評価したい。

今期末に安全運転管理者を選任したことは、今後さらに安全で効率の良い運行計画の提示があると期待しているところである。

来期には低燃費車両を導入し更なる削減を目指し、さらに事務所照明に関してはLED化の見積りを依頼しているところである。

灯油は、基準年の途中から使用し始めたものであり通年使用は本年度からである。よって本年度を基準とし外気温などのデータとともに記録するのが望ましい。

- ・廃棄物に関しては、事務所ではより一層のリサイクル化を促進するため特に書類などの紙類の再生業者との取引を開始したい。

産業廃棄物は、各現場での処分を基本としているので今年度における弊社での処分はゼロとすることができた。

ただし各現場責任者は、各々の工事において資材のリサイクル化、環境配慮型の機械の選択などの提言を元請会社に対して積極的に行ってもらいたい。

- ・水の使用量の削減に関しては、昼夜連動を極力なくすという取組の成果から事務所二階仮眠所にある入浴室の使用頻度によるものと思われるが、このことは従業員の健康面からも今後より促進してゆきたい。

- ・グリーン購入は、目標値に届かなかった。パソコン等の高額商品の購入時は“遠慮”してしまっても値段で決めてしまうことが多々あるようである。

環境事務局の方からより促進に導いていく必要がある。

毎月の災害防止協議会で、短時間ではあるが、元請業者作成の”環境法規制順守要注カード”を利用したミニ講習は、従業員（協力会社社員を含む）が環境活動へ関心を寄せる契機となっており、来期からはより充実した時間（現在の説明型ではなく討論型に）になることを期待するものである。